

(別添資料1)

事業所名

放課後等デイサービス
カラフル・ピース

支援プログラム(参考様式)

作成日

2024 年 4 月 1 日

法人(事業所)理念		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が日常生活における基本的又は応用的な生活技能等習得すること、及び集団生活に適応することができるよう、利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な支援を行う ・利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努める 													
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりに合った学習の基礎支援を行う。主として、読み書きへの困難さに対し、一人ひとりの力に応じた学び方を一緒に探し、自己理解につながるようサポートする ・対人スキルや自己表現の獲得、余暇時間の過ごし方や生活習慣技能の習得等、同じ課題やニーズを持つ利用者の集まりを提供し、一人一人の個別支援計画を作成のもと、活 													
営業時間		9	時	00	分	から	18	時	00	分	まで	送迎実施の有無	あり		
支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・障害特性や家庭状況、保護者の養育面に応じた生活リズム(送迎、食事、睡眠、余暇等)の提案を行う ・必要に応じて医療受診、服薬の提案を行う 													
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職員による運動機能、感覚特性の把握を行い、学習面で有効な配慮や支援方法を提案する ・運動機能、感覚特性に応じた環境設定や自己理解を本人、保護者、所属機関と共有しながら実施する 													
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・読み書きの基礎スキルの向上のため、運動機能、視知覚、注意機能、認知処理、読み書きスキル等をアセスメントツールで客観的に把握し、個々のプログラム設定を行う。その際、本人の意志表示に応じた意思決定を尊重する ・本人の能力に応じた課題設定と関わりの元、エラーレスに充分に注意し、達成感を抱けるよう実施する ・有効な課題設定や支援方法は本人、保護者、所属機関と共有しながら実施する。加えて、将来的なスキルとして必要となる目標設定を行う 													
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の理解力や年齢に応じて、困ったことや悩んでいることを相談、話せる機会を作り、徐々に15分以内で整理して話せること、対応策と一緒に考えることができる関係性を築く ・他者への援助の求め方、表出の仕方などを身につけ、生活の場で使用できるよう実施する ・同年代とのコミュニケーション経験を増やし、その都度言葉がけの仕方などを学べる場とする 													
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・同学年、異年齢の児童との関わり方など、さまざまな関係性を知る場とする ・集団活動で生じる対人トラブルなどを学びとし、他者視点を含めながら関係性や気持ち等を整理し、表出できるようふりかえりを行う ・利用者の特性やニーズに応じて、必要とされる人間関係の構築(個別、少数、外出等)の場を設定する ・中学生は、小集団の中で遊びの計画、実施を行い、地域での遊び方や居場所探しを行う 													
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・本人の障害特性への困り感、社会的資源の情報提供等についての面談を行う ・希望に応じて定期的な集団セッション(ペアレント・トレーニング、ペアレント・プログラム)または個別面談を行い、日々の子育てサポートを行う ・必要に応じて、関係機関と支援会議の開催や情報共有を行う ・合理的配慮を中心に、障害特性への理解や障害に関する知識等の情報を提供する 					移行支援			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者: 移行準備、就学・就労に関する制度等を情報提供する ・利用者: 自己理解を含めた、意志選択や意志表示ができるよう関わる ・他機関: 本児の特性およびそれに対する有効な支援方法などを検討し、本人の意志を中心に、本人の自立や他者への援助ができる環境整備を心がける 					
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・支援会議や情報提供書等により、障害特性の理解それにおける支援方法への共通認識、家族を含めた役割分担を行う ・所属機関や関係機関と合理的配慮に関する環境視点での共有を図る ・必要に応じて医療機関や児童相談所との情報連携も行う 					職員の質の向上			<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズに応じた良質なサービスを提供するために、スタッフの技術・能力(コミュニケーション能力、協調性、問題解決能力、マネジメント能力、アセスメント能力、専門的知識やスキル)の向上に努める ・PDCAサイクルに応じた評価、実践を共通して行う ・事業所全体で取得している資格等の専門性を高め、他職種との連携を図る 					
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・懇親会(年1回) ・個別または集団での外出経験 													